【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2020-134082(P2020-134082A)
【公開日】令和2年8月31日(2020.8.31)
【年通号数】公開・登録公報2020-035
【出願番号】特願2019-31556(P2019-31556)
【国際特許分類】
Ｆ２４Ｆ　11/58　(2018.01)
Ｇ０１Ｋ　1/14　(2021.01)
Ｆ２４Ｆ　11/38　(2018.01)
Ｆ２４Ｆ　110/10　(2018.01)
【ＦＩ】
Ｆ２４Ｆ　11/58
Ｇ０１Ｋ　1/14　Ｚ
Ｆ２４Ｆ　11/38
Ｆ２４Ｆ　110:10

【手続補正書】
【提出日】令和3年6月21日(2021.6.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
空調風を供給する複数の空調機であって、無線信号を発信可能な複数の空調機と、
空気温度を検出する複数の温度センサであって、無線信号を発信可能な複数の温度センサと、
前記複数の温度センサ及び前記複数の空調機それぞれが発信する無線信号を利用して、前記複数の温度センサの位置及び前記複数の空調機の位置を認識する位置演算部と、
前記位置算部が演算した位置を利用して各温度センサと各空調機とを関連付ける関連付け部と
を備える空調システム。
【請求項２】
前記関連付け部は、認識された位置を利用して制御影響度を演算し、当該制御影響度を利用して各温度センサと各空調機とを関連付ける機能を発揮可能であり、
前記制御影響度は、各空調機が生成する空調能力の変化に対する各温度センサの変化の度合いを示す請求項１に記載の空調システム。
【請求項３】
前記関連付け部は、認識した位置を利用して各温度センサと各空調機との距離を演算し、当該距離を利用して前記制御影響度を決定する請求項２に記載の空調システム。
【請求項４】
前記複数の空調機のうち必要な空調能力が発揮されていない空調機があるか否かを判断する稼働判断部を備えており、
前記関連付け部は、前記稼働判断部により必要な空調能力が発揮されていない空調機があると判断されたときに、各温度センサと各空調機とを関連付ける請求項１ないし３のいずれか１項に記載の空調システム。

【請求項５】
前記位置算部が演算した位置が前回演算した位置に対して予め決められた値を超えて変化したか否かを判断する位置判断部を備え、
前記関連付け部は、少なくとも前記位置判断部により変化したと判断されたときに、各温度センサと各空調機とを関連付ける請求項１ないし４のいずれか１項に記載の空調システム。
【請求項６】
空調風を供給する複数の空調機と、
空気温度を検出する複数の温度センサであって、無線信号を発信可能な複数の温度センサと、
前記複数の温度センサそれぞれが発信する無線信号を利用して、各温度センサと各空調機との距離を演算する距離演算部と、
前記距離演算部が演算した距離が最も短くなるように各温度センサと各空調機とを関連付ける関連付け部と
を備える空調システム。
【請求項７】
前記空調機が少なくとも３台設けられている請求項６に記載の空調システム。